

南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について*

海上保安庁水路部

1. 南硫黄島周辺海域の海底火山の最近の活動状況

海上保安庁水路部は昭和52年5月下旬に火山噴火予知計画に基づく調査を海上保安庁YS-11機によって行ない、同年5月下旬から6月上旬にかけて測量船「昭洋」による南日吉海山（通称日吉沖の場）付近海域の海洋測量を実施した。

また海上自衛隊第四航空群（厚木基地）の航空機がほぼ週に1回、当該海域周辺の海底火山調査を実施している。

それらの調査を総合すると南日吉海山及び福神海山（通称福神岡の場）両海底火山の火山活動はいずれも衰退しつつあり、当庁の入手した資料によれば南日吉海山は本年3月28日の活動報告（既報）以後変色水は7月中旬まで全く認められておらず、福神海山は本年3月3日の活動報告（既報）以後は4月28日に直径50m、長さ250m程度の薄緑色変色水域の報告（海上自衛隊R2J機による）があっただけである。

南硫黄島沖の海底火山、通称「福德岡の場」の火山活動については本年4月以降も各機関の調査ごとに変色水が認められている。その変色水の規模及び色は直径50m～100m程度の薄い青緑色もしくは乳白色のものが多く火山活動は以前と同程度か若干衰退気味と推定される。

2. 南硫黄島南方海域の海底火山の名称について

海上保安庁水路部では昭和51年8月2日～同月17日及び昭和52年5月18日～6月6日の二度にわたり測量船「昭洋」により福神海山、南日吉海山の両海底火山を含む約240海里×30海里の海域において海底地形、地質構造、地磁気（全磁力）、重力についての総合調査を実施した（福神海山を含む120海里×30海里の海域の調査結果については本会報第8号に既報）。上記調査によって福神海山、南日吉海山を含む大小21の海山もしくは海丘が確認され、昭和52年6月7日、海上保安庁水路部において開催された海洋地名打合せ会議でそれぞれの名称が決定されたため、第1表にその名称、位置、水深、慣習名（漁礁名）を示し、第1図にその位置関係を示す。

*Received July 25, 1977

第1表 南硫黄島南方海域の海山名

名 称	位 置		水 深 m	慣習名(漁礁名)
	北 緯	東 経		
福 徳 海 山	24° 03.0'	141° 37.0'	201	福德南の場、海徳場
北 日 吉 海 山	23° 45.0'	141° 42.5'	214	日吉岡の場
中 日 吉 海 丘	23° 35.3'	141° 48.5'	624	日吉中の場
南 日 吉 海 山	23° 30.4'	141° 54.3'	(30)*	日吉沖の場
鷹 寿 海 山	23° 13.5'	141° 33.0'	(56)*	鷹寿場、鷹寿西の場
日 光 海 山	23° 04.5'	142° 18.5'	704	日光場
三 福 海 山	22° 51.5'	142° 39.5'	455	三福場
昭 洋 海 山	22° 28.5'	142° 58.5'	564	
第1北福神海山	22° 25.8'	143° 12.0'	1,390	
第2北福神海山	22° 17.0'	143° 16.7'	1,110	
第1北福神海丘	22° 06.7'	143° 29.8'	1,780	
第2北福神海丘	21° 59.8'	143° 38.6'	2,180	
福 神 海 山	21° 56'	143° 28'	(3)*	福神岡の場
東 春 日 海 山	21° 55.7'	143° 49.5'	1,360	
春 日 海 山	21° 45.9'	143° 42.6'	598	春日場
南 春 日 海 山	21° 36.0'	143° 38.2'	274	春日南の場、福神中の場、福神沖の場
北 栄 福 海 山	21° 38.4'	144° 08.5'	1,460	
栄 福 海 山	21° 24.7'	144° 08.9'	297	栄福場
大 黒 海 山	21° 19.5'	144° 11.4'	492	大黒場、水天場
東 大 黒 海 山	21° 19.8'	144° 26.4'	1,470	
南 大 黒 海 山	21° 02.4'	144° 31.7'	817	光照場

* ()水深は報告水深である。

